



院外処方箋への 臨床検査値添付について

マツダ病院 薬剤部

2015年9月24日 安芸地区薬薬連携研修会

目的

患者さんの検査値を参照することで、用法用量・副作用確認を含めた処方監査がこれまで以上に、個々の患者さんに応じて実施でき、適正で安全な薬物治療の推進につながる。

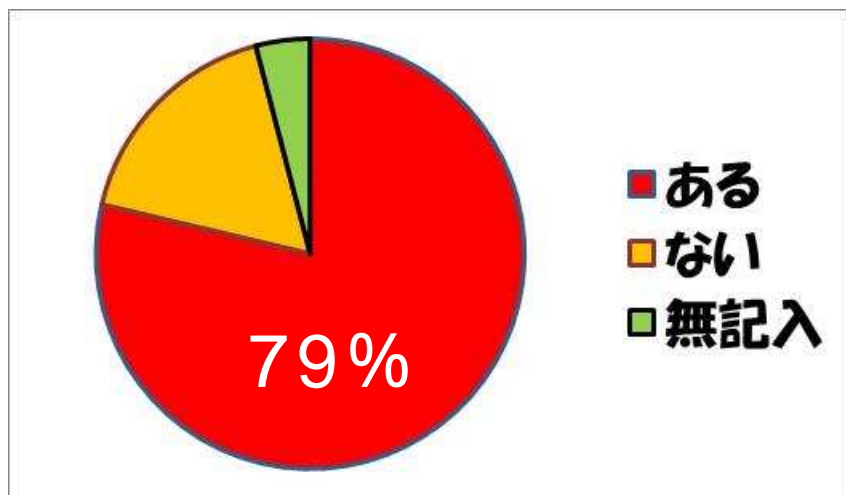
薬局薬剤師の方への アンケート結果

122名の薬剤師の方に
ご回答いただきました。

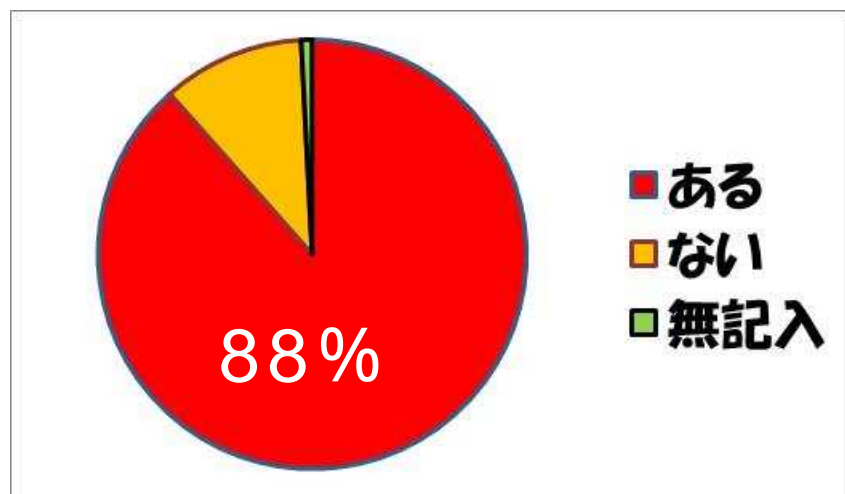
ありがとうございました。



Q.調剤する際に検査値を確認したいと思ったことがあるか。



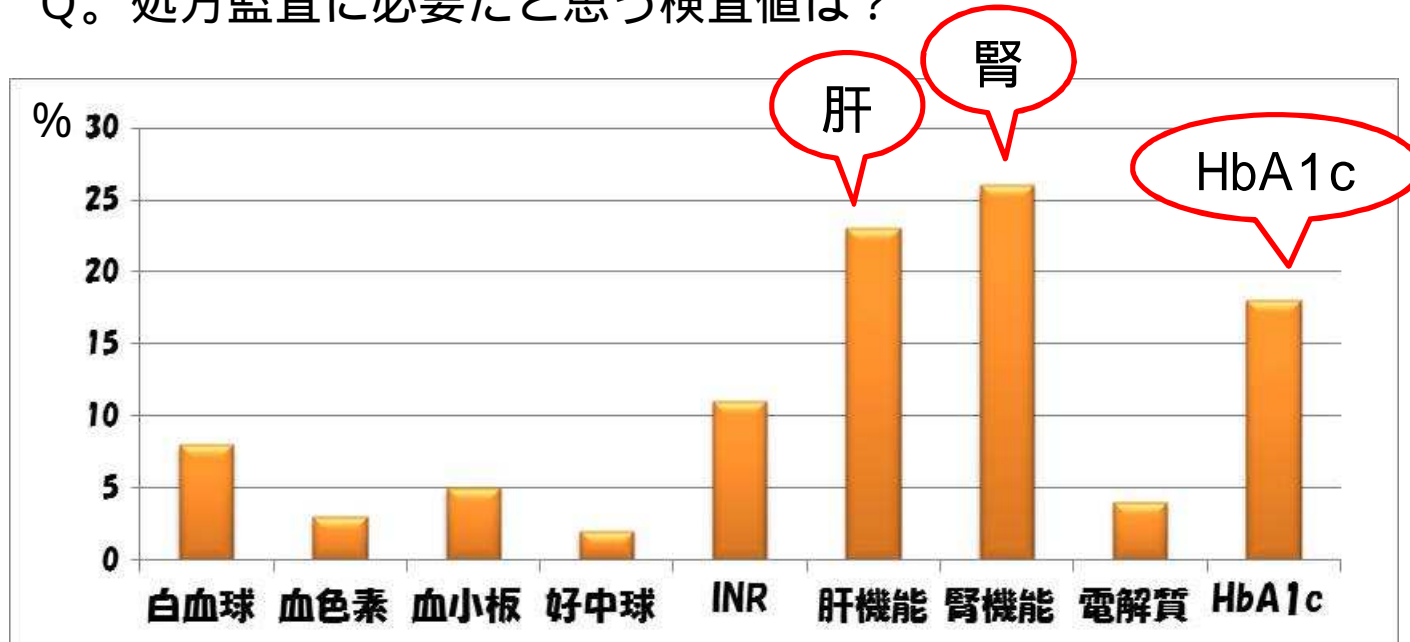
Q.患者さんにこれまでに検査値を見せてもらったことがあるか。



Q.検査値を確認したいと思ったことがある具体的な薬品名などは？

- ・抗凝固薬：フラサキサ、イクサレルト、エリキュース、ワーファリン
- ・抗血小板薬：フラビックス、ハナルジン
- ・抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬
- ・NSAID s
- ・イイロ-レターが出た薬
- ・高K血症治療薬
- ・鉄剤

Q. 処方監査に必要なと思う検査値は？



Q.検査値の処方箋表示を開始するにあたり、不安な点・要望・疑問点は？

- ・ マツダ病院での検査値の正常値の範囲を知りたい
- ・ 検査値についてまとめた冊子があると助かる。
- ・ 患者から解説を求められる。
- ・ 検査値をどのように服薬指導に活かしていくのか、実例をあげながら研修会をしてほしい。
- ・ 検査値だけで疑義照会するのは勇気がいる。
- ・ 患者さんが検査値をチェックする意義があることを理解してくれるか心配。
- ・ 一般的な基準値でなく、個々の患者ごとに医師が目標値を設定している場合、誤った話をしてしまわないか心配。



実際の流れ



(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です。)
(病院の検印がない処方箋は無効となります。)

公費負担者番号 又は市町村番号		保険者番号		1	2
公費負担医療又は老人医療の受給者番号		被保険者証・被保険者手帳の記号・番号	ああ・		

氏名	テスト マツダ イタリア		性別	男
	マツダ テストイタリア			女
生年月日	昭和	41年	8月	27日生
区分	<input checked="" type="radio"/> 被保険者	<input type="radio"/> 被扶養者	<input type="radio"/> 3割	

交付年月日	平成27年 6月12日	処方せんの使用期間	平成 年 月 日
特に記載のある場合を除き、交付の日付を4日以内に保険薬局に提出してください			

変更不可
個々の処方箋について、後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更に差し支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「✓」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。

01 内服
ロキソニン錠60mg 1錠
1日3回 朝昼夕食後30分 内服
----- 以下余白 -----

調剤済年月日	平成 年 月 日	公費負担者番号			
保険薬局の所在地名 保険薬剤師氏名		公費負担医療の受給者番号			

備考	「変更不可」欄に「✓」又は「×」場合は、署名又は記名・押印す
	保険医署名

ID:99999411

テスト マツダ

氏名:マツダ テスト 性別:男
生年月日:昭和41年 8月27日 (48歳)

患者さんへ

下記の表には、ご自身の最新の血液検査結果(3ヶ月間検査が無い場合には空欄となります)の一部が表示されています。この検査値は保険薬局での調剤時、当院処方薬の適正使用(肝機能の早期発見など)、薬局薬剤師にご提示

同じA5版で2枚印刷

示ください。ただし個人情報ですので、保険薬局への開示を望まない方はそのままお持ち帰りください。

血液検査データ (3ヶ月以内の直近の結果)

検査名	検査結果	単位	検査日
白血球数	43.8	$\times 10^2$	2015/6/11
血色素量	11.1	g/dl	2015/6/11
血小板数	7.9	$\times 10^4$	2015/6/11
INR	1.48	H	2015/6/11
AST (GOT)	20	IU/l	2015/6/11
ALT (GPT)	20	IU/l	2015/6/11
CRE	0.62	mg/dl	2015/6/11
Na	120.0	mEq/l	2015/6/11
K	4.00	mEq/l	2015/6/11
HbA1c:NGSP	4.8	%	2015/6/11
Seg 数	26.9	$\times 10^2$	2015/6/11
Neutro 数			

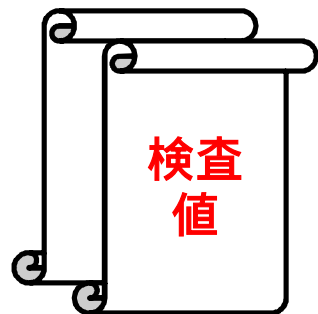
※当院基準値から外れた際に、H(ハイ)・L(ロー)が表示されます。

基準値
 白血球 (35.0-95.0) 血色素量 (男性13.7-17.6、女性11.2-15.0)
 血小板数 (14.0-35.0) INR (0.85-1.15)
 AST (13-33) ALT (8-42)
 CRE (男性0.6-1.1、女性0.4-0.7) Na (138-146)
 K (3.6-4.9) HbA1c:NGSP (4.6-6.2)

【保険薬局薬剤師の方へ】処方鑑査、服薬説明の際にご活用下さい。
 個人情報となりますので取扱いには十分に注意し、目的以外での使用はしないでください。
 不明な点はマツダ病院ホームページ薬剤部をご覧ください。

マツダ株式会社マツダ病院

運用方法



処方箋と一緒に検査値の用紙印刷(A5版)。



患者さんに渡す。事前にFAX可。



薬局窓口へ処方箋と一緒に検査値用紙を持参。



検査値も参考に、処方箋監査
疑義照会はマツダ病院薬剤部へ(これまで通り)



検査値開示は拒否
される場合も有



検査値用紙は本人へ返却(または薬局保管)
FAX用紙、コピーなどを保管し、経時的に確認を。
処方箋と同じく個人情報。管理に留意。

院外処方箋に添付する検査値

12項目

白血球数、血色素量、
血小板数、INR、AST(GPT)、
ALT(GOT)、
CRE、Na、K、HbA1c:NGSP、
Seg実数、Neutro実数

検査値：過去3ヶ月間のうち直近のものが記載される
(検査日が横に表記)

院外処方箋に記載されている検査値一覧表（基準値：2015年11月現在）

検査項目名	項目の説明	基準値	単位
白血球数	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、薬剤の影響も反映。	35.0 - 95.0	$\times 10^9$
血色素量	赤血球中で酸素の運搬を担うヘモグロビンの量。貧血や多血症の指標。	男性 13.7 - 17.6 女性 11.2 - 15.0	g/dL
血小板数	止血のために働く血球の数。出血傾向がある場合、原因探索の指標。	14.0 - 35.0	
INR	血液の凝固能を示す指標。	0.7 - 1.2	
ALT (GPT)	肝疾患、心疾患等の指標。	0 - 40	U/L
AST (GOT)	肝疾患の指標。	0 - 40	U/L
CRE	腎機能、筋肉量の指標。 腎機能障害で上昇（筋肉量に影響を受ける）。	男性 0.7 - 1.2 女性 0.6 - 1.1	mg/dL
Na	電解質のバランスの指標。	138 - 146	mEq/L
K	電解質のバランスの指標。	3.6 - 4.9	mEq/L
HbA1c/NGSP	過去1~2ヶ月の血糖コントロールの指標。	4.6 - 6.2	%
Ses 異数	白血球の中の好中球の数。 抗がん剤による骨髄抑制の指標。		$\times 10^9$
Neutro 異数	白血球の中の好中球の数。 抗がん剤による骨髄抑制の指標。		$\times 10^9$

項目の説明
ホームページに
掲載します。



活用方法



活用方法

禁忌症例(腎機能、肝機能、糖尿病etc.)

過量投与(腎機能・肝機能などでの減量規定)

副作用の未然防止、早期発見

服薬説明



禁忌症例

・ 緊急安全性情報（イエローレター）

・ 安全性速報（ブルーレター）

・ 添付文書

などから情報収集

平成14年11月
No. 02-05

緊急安全性情報

抗精神病剤
セロクエル25mg錠、同100mg錠（フマル酸ケチアピン）投与中の血糖値上昇による糖尿病性ケトアシドーシス及び糖尿病性昏睡について

2001年2月の発売以降、これまでに本剤との関連性が否定できない高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡が13例（うち死亡例1例）報告されております（推定使用患者数：約13万人（2002年9月現在））。

高血糖については本年7月に「使用上の注意」に記載し注意を喚起しておりますが、その後重篤例が報告されたため、このたび「禁忌」、「使用上の注意」を改訂するとともに「警告」を追加することとなりました。

本剤の投与にあたっては下記の点に十分にご注意下さいますようお願い申し上げます。

これらの副作用が認められた場合には、販売元である藤沢薬品工業株式会社の医薬情報担当者にご連絡下さい。

製造元：アストラゼネカ株式会社、販売元：藤沢薬品工業株式会社

- 1. 糖尿病の患者あるいは糖尿病の既往歴のある患者には投与しないこと。**
糖尿病の患者あるいは糖尿病の既往歴のある患者では、血糖値が上昇し、代謝状態を急激に悪化させるおそれがありますので、これらの患者には本剤を投与しないでください。
- 2. 本剤投与中は血糖値の測定等の観察を十分に行うこと。**
本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の重大な副作用が発現し、死亡に至る場合がありますので、本剤投与中は、血糖値の測定等の観察を十分に行ってください。
- 3. 患者及びその家族に対し、十分に説明すること。**
本剤の投与に際しては、患者及びその家族に対し、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の重大な副作用が発現する可能性があることを十分に説明し、口渇、多飲、多尿、頻尿等の症状があらわれた場合には、直ちに投与を中断し、医師の診察を受けるよう、指導してください。

「警告」、「禁忌」及び「使用上の注意」を裏面の通り改訂致しましたのであわせてご連絡いたします。
お問い合わせ先 藤沢薬品工業株式会社 第一PMS部
〒532-8514 大阪府淀川区加島2丁目1番6号
TEL:06-6390-5266 FAX:06-6304-1319



禁忌症例

例) 添付文書【禁忌】の項に記載ある薬品

- ・ **サムスカ**：高ナトリウム血症の患者
[本剤の水利尿作用により高ナトリウム血症が増悪するおそれがある。]
- ・ **リセドロン酸ナトリウム**：高度な腎障害のある患者
[クレアチニンクリアランス値が約30mL/分未満の患者では排泄が遅延するおそれがある。]
- ・ **スピロノラクトン**：高カリウム血症の患者
[高カリウム血症を増悪させるおそれがある。]



過量投与防止

例) 添付文書【用法用量】の項に記載ある薬品

- **エリキュース**：通常1回5mg、1日2回
次の基準の2つ以上に該当する患者は、出血のリスクが高く、本剤の血中濃度が上昇するおそれがあるため、1回2.5mg 1日2回
80歳以上、体重60kg以下、血性クレアチニン1.5mg/dL以上
- **リクシアナ**：通常1回60mg、1日1回
「非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制」「静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制」
次のいずれかに該当する場合には30mgへ減量
体重60kg以下
キニジン、ベラパミル、エリスロマイシン、シクロスポリンの併用
30mL/min Ccr 50mL/min
15mL/min Ccr < 30mL/minの場合には特に慎重に。
Ccr < 15mL/minには禁忌。



過量投与防止

リリカの添付文書：用法用量に関連する使用上の注意

※ 神経障害性疼痛

クレアチニン クリアランス (mL/min)	≥60	≥30-<60	≥15-<30	<15	血液透析 後の補充 用量 ^{注)}
1日投与量	150~600 mg	75~300 mg	25~150 mg	25~75 mg	
初期用量	1回75 mg 1日2回	1回25 mg 1日3回 又は 1回75 mg 1日1回	1回25 mg 1日1回 もしくは2回 又は 1回50 mg 1日1回	1回25 mg 1日1回	25又は 50 mg
維持量	1回150 mg 1日2回	1回50 mg 1日3回 又は 1回75 mg 1日2回	1回75 mg 1日1回	1回25又は50 mg 1日1回	50又は 75 mg
最高投与量	1回300 mg 1日2回	1回100 mg 1日3回 又は 1回150 mg 1日2回	1回75 mg 1日2回 又は 1回150 mg 1日1回	1回75 mg 1日1回	100又は 150 mg

注：2日に1回、本剤投与6時間後から4時間血液透析を実施した場合のシミュレーション



副作用の未然防止、早期発見

平成12年2月
99-2号

緊急安全性情報

尿酸排泄薬
ベンズプロマ

本剤との因果関係
報告されておりま
このため、従来
追加致しました。
副作用が確認し

1. 6ヵ月間は定期的な肝機能検査を行うこと

劇症肝炎等の重篤な副作用として肝障害が報告されている。重篤な転帰に至る例も報告されている。6ヵ月間は必ず、定期的な肝機能検査を行うなど、検査値の異常、黄疸が認められた場合には投与を中止すること。

2. 食欲不振、全身倦怠感等

副作用として肝障害が発生する可能性があることをあらかじめ患者に説明するとともに、食欲不振、悪心・嘔吐、全身倦怠感、腹痛、下痢、発熱、尿濃染、眼球結膜黄染等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、直ちに受診するよう患者に注意を行うこと。

患者に注意の徹底を

お問い合わせ先：鳥田薬品株式会社 学術本部
安全情報管理室 電話 03-3231-6829
学術部 電話 03-3231-6837
電話 03-3231-6838

1



マツダ病院での対策 院内での処方箋に記載

外来処方箋

発行日 : 平成27年 6月23日
 発行時間 : 16時 1分17秒
 新規 2524449 000000002524449

処方日 : 平成27年 6月23日

Page. 1/ 1

0000000001	精神科・心療内科	AST (GOT) 49 H27/ 6/19	患者住 :
身長 0.0 cm	体重 0.0 kg	ALT (GPT) 28 H27/ 6/19	電話 :
マツダ 太郎		白血球数 74.7 H27/ 6/19	医師 : 印
37歳7ヵ月 (男) 昭和52年11月10日 生		血色素量 12.8 H27/ 6/19	病名 :
禁忌		血小板数 6.6 H27/ 6/19	
		HbA1c:NGSP 7.5 H27/ 2/ 3	
		CRE 0.89 H27/ 6/19	
		K 3.93 H27/ 6/19	
		Seg 実数 54.9 H27/ 6/19	
		INR 1.37 H27/ 6/19	

前回処方	今回処方	調剤数量
	1) ラミクタール錠 25mg	4錠 28錠
	ラミクタールは、添付文書の用法用量を必ず確認して調剤する事！！	
	1日2回 朝夕食後30分 内服	7日分
	2) ベネット錠 17.5mg	1錠 1錠
	ベネットはCcr30未満で禁忌！！	
	1日1回 起床時 内服	1日分
	----- 以下余白 -----	



ベネットはCcr30未満で禁忌！！



マツダ病院で注意している医薬品の例

《腎機能》(添付文書、CKDガイドライン参考)

リリカ、アロシトール、ファモチジン、レボフロキサシン、
ザイザル、プラザキサ、イグザレルト、リクシアナ、エリキュース
バルトレックス、リセドロン酸、NSAIDs

《肝機能》イエローレターが出たもの等

チクロピジン、ユリノーム、オダイン、テルビナフィン、
スタチン系高脂血症薬

《電解質》

サムスカ(Na)、カリウム製剤・利尿薬(K)

《INR》

ワーファリン

《白血球、血小板、好中球》

抗がん剤全般、リウマトレックスなどの免疫抑制剤
メルカゾール(好中球)

《HbA1c》

糖尿病薬、クエチアピン、ジプレキサ

服薬説明

例：糖尿病

HbA1c値は過去1～2ヶ月の血糖値を反映しています。徐々に下がってきていますね。薬と生活に気を付けている成果がでてきているので、このままつづけましょう。

薬は飲み間違えないようにカレンダーに入れて飲んでます。食事にも気を付けて、体操をはじめました。先生に検査値が良くなったと言われました。

例：ワーファリン

(ワーファリンの量変化が無いのにINRが急に下がった。ワーファリンが増量になったけど、)最近、何か新しく健康食品を始めたり、食生活で変えたことはありますか？薬を飲み忘れてしまうことがなかったですか？

先生に言えなかったけど、外食が多くて最近夜の薬が時々飲めてませんでした。外食で野菜が少ないので、友人に勧められたドリンクをのみはじめました。

問い合わせ実例

- 添付文書やガイドラインに基づいて、禁忌症例にあたるものなどの問い合わせを行ってください。
- 患者さんの症状・訴えも含めて、代替案を提示するなど、具体的な内容を伝えてください。

「今日、ロキソプロフェン錠が出ています。腎機能があまり良くないんですけど、どうしましょうか？」

初回投与？継続投与？腎機能はどれくらい？
処方目的は？症状は今どうなの？？？

「昨年の夏の手術から1年以上ロキソプロフェン錠が1日3錠で処方されています。今日の検査でCcrが約45ml/minでした。添付文書で重篤な腎機能障害に禁忌、CKDガイドラインではCcr<50ml/minで禁忌となっています。本人に聞いたら、しばらく歩いたら痛いくらいとのことでした。ときどき飲むのを飛ばしてたようです。頓服かアセトアミノフェンへの変更はどうでしょうか？」

【微妙な症例について】

- ・ハイリスク薬か？ 例：抗凝固薬、免疫抑制剤
- ・ハイリスク患者か？ 例：高齢者・低体重
- ・初回処方or継続処方か？
例：継続服用中だが、検査値に悪化傾向ないので、
検査値・副作用兆候のモニタリングを継続する。
- ・短期処方or長期処方か？
- ・副作用の兆候がないか？
- ・他に提案できる薬がないか？ 例：アロプリノールをフェブリクへ



今後



マツダ病院ホームページ

病院オフィシャルホームページ

<http://hospital.mazda.co.jp/>

準備中

内容：処方箋、検査値用紙の見本、検査値の説明

研修会資料

(今後も研修会行った場合にはその資料)





マツダ病院 mazda hospital

サイト内検索

検索

文字サイズ

小 中 大

お問い合わせ ☎ 082-565-5000

トップページ

外来診療

入院・面会

健診

診療科・部門

医療連携

病院概要

広島市東部の基幹病院としての役割を担っています。

受診をお考えの方へ

入院・面会をされる方へ

人間ドックをお考えの方へ

医療機関の方へ

医療の質 quality in medical care

マツダ病院

1. 診療科・部門 薬剤部 「保険薬局の方へ」
2. 医療機関の方へ 「保険薬局の方へ」

マツダ病院薬剤部では

「日本一、医薬品を安全に確実に患者さんへ提供
できる病院を目指します」

をブランド目標とし、様々な取組を行っています。

今後も薬局薬剤師の方々と協力し、より安全で安心
な医療の提供を行っていきたいと考えています。

よろしくお願ひします。

